

宝塚自然の家管理運営事業について

社会教育部 社会教育課

1 利用状況

単位(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	6,403	4,762	5,213	10,251
内、アスレチック利用者数	2,062	795	1,261	4,518

※令和元年度から3年度は休所による暫定利用、令和4年度は2月までの実績

2 アスレチック設置工事の概要

木材やロープなどの自然素材を使い、網目状に編んだロープを張った木製遊具を既存コース又は多目的広場に設置を予定しています。

3 新たな指定管理者の元での取組概要

宝塚自然の家は、令和4年4月から一般社団法人宝塚にしたに里山ラボを指定管理者として再開しており、冬期期間（12月～2月）を除く、木曜から日曜までと祝日の10時から16時まで開所しています。

「自然」「文化・暮らし」「食と農」を体験の柱に掲げ、自然や生き物に触れる体験のほか、西谷のお米を使った飯ごう体験や西谷野菜のバーベキュー、西谷の食材を使ったごはんフェスなど、西谷の環境を生かした取組を実施しています。また、地域の人や関係団体の方を先生とする親子で学べる体験プログラムや里山保全活動を行うことで、西谷の魅力を伝えています。

小学校の校外学習、西谷中学校のトライやるウィークの受け入れを行うなど、学校との連携にも取り組んでいます。西谷中学校のトライやるウィークでは、生徒の企画による宝さがしやピザづくりなどを実施し、スタッフの仕事を体験しました。

現在も西谷野菜の販売や西谷会館で開催された西谷フェアでの活動紹介のほか、12月に開催された「にしたに収穫祭」に合わせて臨時で開所するなど、西谷地域の各施設とも連携しています。

今後とも、多様な団体等と連携を深め、西谷地域の自然環境を生かし、宝塚自然の家をはじめ地域の活性化につなげていきたいと考えています。